

① 杉原千畝について

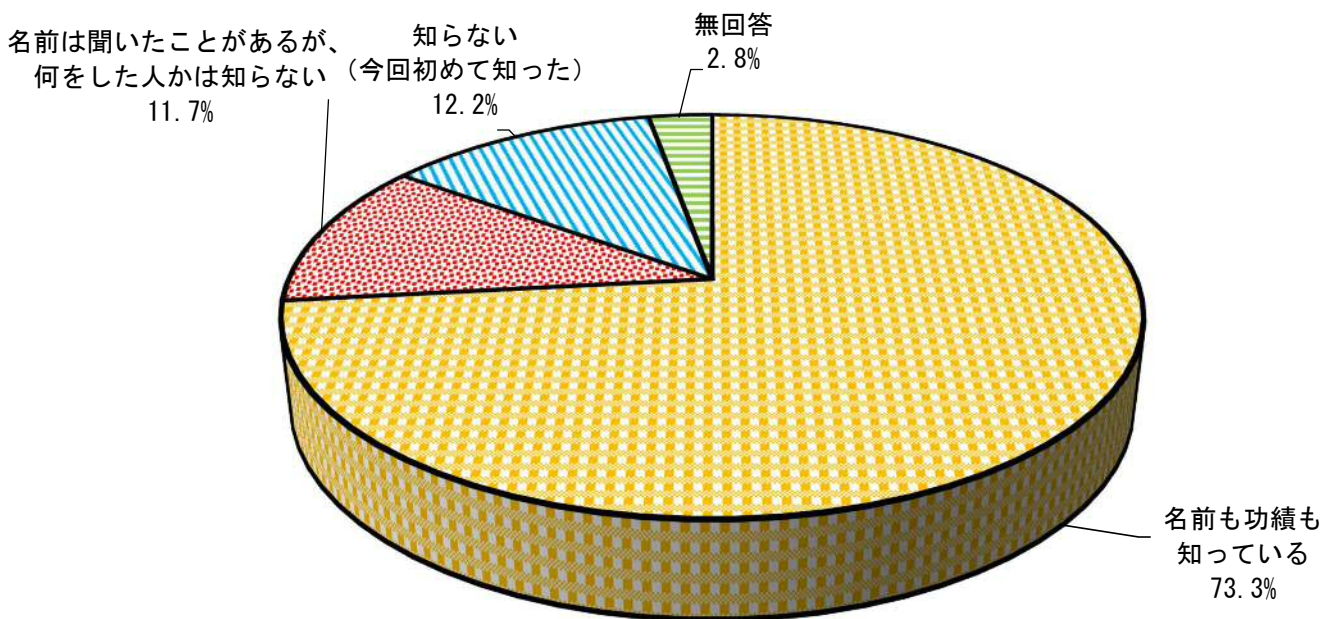
「命のビザ」で知られる杉原千畝は日本の外交官です。第二次世界大戦中に迫害から逃れようとするユダヤ系避難民に 2,000 通を超えるビザを発給し、多くのユダヤ人を救いました。千畝は少年期の約 10 年を名古屋で過ごしました。

名古屋市では、今年度から杉原千畝顕彰事業を実施します。このアンケートは、杉原千畝の功績や名古屋とのゆかりなどについて、市民の皆さまの認知度を確認し、今後の参考とさせていただきます。

※各図表の「N」は、回答者数を表しています。

問1 あなたは、杉原千畝という人物やその功績を知っていますか。(○は1つだけ)

N=913



～杉原千畝と名古屋とのゆかりについて～

1900（明治 33）年、岐阜県に生まれた杉原千畝は、父・好水の仕事の都合で、小学校低学年のときに名古屋市古渡尋常小学校（現・名古屋市立平和小学校）に転入しました、1912（明治 45）年、尋常小学校を卒業した千畝は、愛知県立第五中学校（現・愛知県立瑞陵高等学校）に進学し、1917年（大正 8）年に卒業しました。

当時、千畝は現在の中区平和一丁目付近に家族で住んでいました。千畝が 16 歳の時、家族は京城（現在の韓国・ソウル）に引っ越すことになりましたが、千畝は第五中学校卒業まで約 1 年だったため、千畝は日本に残り、現在の中川区五女子に下宿をしていました。

問 2 あなたは、杉原千畝と名古屋とのゆかりについて、知っていたものは何ですか。

(○はいくつでも)

N=913

